

## 趣 意 書

創立百十周年記念事業にかかわる御協力について（お願い）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本校は明治四十三年鹿児島市に鹿児島県立商船水産学校として発足、平成三十一年度（令和元年度）には創立百十周年を迎えることとなります。この間、昭和四年枕崎市花渡川河畔に移転後、枕崎造船水産学校、枕崎水産学校となり、さらに昭和二十三年の学制改革に伴い、県立枕崎水産高等学校と改称、続いて昭和三十六年現在の校名へと、時代の変遷とともに幾度か校名の改称があり、昭和四十六年、現在の枕崎市板敷南町に移転し、十七ヘクタールにも及ぶ県下高校中最大の敷地面積として、その偉容を誇っています。

昭和六十一年、全国の水産高校に先駆けて学科改編を行い「自律・責任・創造」の校訓のもと「二十一世紀のふるさとの海を拓く」をスローガンに生徒・職員が一体となって勉学、部活動等に励み、その成果は県内外に知られています。平成二十八年度には海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞）を受賞しました。さらに「地域に根ざした学校づくり」という観点から、枕崎市のかつお祭りやきばらん海、コンカツプロジェクトへの参加、ジュニア料理選手権でのグランプリ獲得、文部科学省のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）の認定とその活躍ぶりはめざましいものがあります。

学校創立以来、国内外の著しい変動はありましたが、一貫して水産教育の場として優れた伝統を培ってきました。そして、関係各位の御協力と地域社会に支えられ、今日まで社会に送り出した卒業生はすでに九千四百余人に達し、全国各地の水産業界をはじめ各界にわたり、広く活躍中であり誠に御同慶にたえません。

現在、各種国家試験等の合格状況は、全国水産高校の中でトップレベルにあり、卒業生の就職はもとより、進学においても毎年、大学や各種学校等へ合格者を出しています。

このように、県下唯一の水産高校としてその発展が期待され、成果が着実に上がってまいりましたのも、ひとえに、若潮会会員をはじめ、教職員、保護者はもとより、水産業界並びに地域社会の方々の方々の、長年にわたる温かい御支援の賜と深く感謝しているところです。

この機にあたり、創立以来の本校の歩みを回顧し諸先輩の偉業をしのぶと共に、地域社会より本校に寄せられました御芳情に応えるよう決意を新たにし、一層の発展を図るべく、ここに創立百十周年記念事業を行うことになりました。

先般、若潮会（同窓会）・PTA・学校側の三者による、創立百十周年記念事業実行委員会が発足し、その計画等について検討を重ねてまいりました。諸般の事情に配慮し、今回は簡素な中にも意義のある事業・行事を企画し、将来に向けて発展する機会をつくることを基本として、左記の通り決定致しました。

つきましては、出費多端の折、誠に恐縮に存じますが、何卒この趣旨に御賛同を賜り、各位の多分の御協力を頂きますようお願い申し上げます。

平成三十年十二月吉日

鹿児島県立鹿児島水産高等学校  
創立百十周年記念事業実行委員会

委員長（若潮会会長） 野沢 好則  
副委員長（PTA会長） 中釜 章智  
副委員長（校長） 岸下 純弘

一 募金目標総額 一五、〇〇〇、〇〇〇円  
内 訳 ・ 若潮会 一二、五〇〇、〇〇〇円  
・ P T A 一、〇〇〇、〇〇〇円  
・ 一 般 一、五〇〇、〇〇〇円

### 四 募金方法

ア 同窓会会員及び一般からの募金について  
募金額・・・一口（五、〇〇〇円）以上  
納金方法・・・振替送金（郵便局）、実行委員、  
本校窓口のいずれかでお願いま  
す。

## 二 募金の使途

ア 記念事業  
百十周年記念基金  
空調施設設置補助  
同窓会名簿及び記念誌発行・他  
イ 記念行事  
亡師亡友慰霊祭  
記念式典・記念講演・記念祝賀会  
令和元年十一月九日（土）  
記念体育祭及び鹿水高祭（文化祭）等

振替口座・・・01790・7・147777  
創立110周年記念事業実行委員会  
PTA会員からの募金について  
（別途お願いする予定）  
ウ 二万円以上御寄付をいただいた方には「記念誌」  
を寄贈させていただきます。

## 三 募金期間

平成三十年十二月から令和元年十二月末日

